

授業科目名	事業構想基礎演習	担当教員	西根英一	科目コード
配当年次	1年次	学期	後期	
キャンパス	名古屋	単位数	2単位	

講義の概要とねらい

概要)

一年次演習テーマに即し、0を1にするビジネスローンチのための事業の発想・着想・想像、事業の構想立案(KGIとなる大きな目標設定)、事業の構想計画(KPIとなる細かな要件定義)、次に1を100にするビジネスグロースのための事業分析(環境分析、市場分析、戦略分析)と事業戦略(マーケティング・コミュニケーション)の“設計図”をトレースしながら、事業価値の最大化、従来モデルとの差別化、持続社会への最適化を図ります。

ねらい)

テーマに対する事業構想を、“純度”をもって創発し、共創しながら“確度”ある事業構想の企画書へとブラッシュアップしていきます。事業構想の手順を習得し、二年次の個別の事業構想に活かしていきます。

到達目標

一年次演習テーマに対する課題抽出とその課題解決を目途に、一つの事業構想の企画書を創り上げることを目標にします(=到達レベル)。さらに、実現可能な社会課題解決型ビジネスとして注目されることを期待します(=期待レベル)。

キーワード

#事業構想 #課題抽出 #内的動機 #ビジネスアイデア #グループワーク

授業の進め方と方法

各回、考え方と進め方のレクチャーの後に、チーム演習(グループワーク)を中心に進行し、進捗確認のためのチーム発表(各回行う)に対して討論と講評を行います。共創の意識が芽生えるよう指導します。

授業計画

授業計画		課題
第1回	オリエンテーション…アプローチテーマを探索し、テーマが置かれている現状を構造化する	チーム復習として、チームで取り上げる課題を合意形成しておく。
第2回	事業の発想・着想・想像…クリエイティブ発想で拡散して、ロジカル思考で収束する	チーム復習として、「事業の発想・着想・想像」を仕上げておく。
第3回		
第4回	事業の構想立案と事業の構想計画…KGIからバックキャストिंगして、KPIを要件定義する	チーム復習として、「事業の構想立案」「事業の構想計画」を仕上げておく。
第5回		
第6回	精緻化のための事業分析…PEST分析(環境分析)と3C分析(市場分析)から、SWOT分析(戦略分析)へ	チーム復習として、「事業分析」を仕上げておく。
第7回		
第8回	戦略化のための事業プラン①…ブランディング(商材開発)とイシューイング(話題開発)	チーム復習として、「戦略化事業プラン(ブランディングとイシューイング)」を仕上げておく。
第9回		

第10回	戦略化のための事業プラン②…マーケティング(市場開発)とターゲティング(顧客開発)	チーム復習として、「戦略化事業プラン(マーケティングとターゲティング)」を仕上げしておく。
第11回		
第12回	収益化のための事業プラン…分子を増やす販路開発プランと分母を拡げる事業開発プラン	チーム復習として、「収益化事業プラン」を仕上げしておく。
第13回		
第14回	一年次演習テーマに対する事業構想の成果 [一チーム当たり45分…発表(30分)と討論・講評(15分)を想定]	発表の準備を要す。
第15回		

教科書

一年次演習テーマの決定により指示します。

参考書、講義資料等

各テーマに沿った資料を毎回提示します。

成績評価の基準及び方法

全15回を通じた演習テーマへの取り組みを評価の8割に設定します(成果報告となる「事業構想の企画書(1年次ゼミ)」作成は必須条件となります)。残り2割は、授業内の“共創”への参画度を平常点とします。

連絡先(メール・電話番号)

西根英一 : e.nishine@mpd.ac.jp

オフィスアワー

授業のある日に合わせ、名古屋校にいます。その他の時間帯はメール等で対応します。

その他

- ・課題抽出×内的動機×ビジネスアイデアから発想・着想・想像すること。
- ・第14・15回に企画を発表してもらいます。この準備にまとまった時間を要することが予想されます。ただし、演習のときから積み重ねられているため、演習が着実に進捗していれば最後に大きな負担がかかることはありません。